



YUME いっぱい

優しい心・優しい言葉・優しい仲間

佐世保市立吉井北小学校
学校通信 23号
R03.11.01 (月)
文責 校長 堤 祐子



11月の行事予定



- 1日 (月) 読み聞かせ (地域)
- 2日 (火) チャレンジ T
- 3日 (水) ㊦ 文化の日
- 4日 (木) 体重測定 (低)
- 5日 (金) 体重測定 (高)
- 8日 (月) 読み聞かせ (ピノキオ)
- 9日 (火) チャレンジ T・ALT 来校
- 10日 (水) 避難訓練
- 12日 (金) 学習発表会
(5校時 1～4年、6校時 5～6年)
- 15日 (月) ～22日 (月) 個人面談 (児童)
- 17日 (水) 全校集会
- 19日 (金) 1・2年生生活科校外学習 (世知原)
- 23日 (火) ㊦ 勤労感謝の日
- 24日 (水) 委員会活動 小動物教室 (飼育委)
- 30日 (火) チャレンジ T・ALT・4年音楽学習

11月12日(金)は 学習発表会

今年度は予定通りに、学習発表会を平日開催いたします。以前と違って残念ながらステージを使つての発表はせず教室ですが、その分お子様の発表を近くで見ることができます。

また、お子様の発表だけでなく、他の学年も自由に観て回ってください。1～2年生は5校時で下校ですので、その後親子でいろんな学年を観ていただければ嬉しいです。

発表日程

1～4年 5校時 (14:00～14:45)

5～6年 6校時 (14:55～15:40)

※実際の発表時間は学年の発達段階によって多少変わることがあります。

※懇談会はありません。

吉井北小の秋 ～授業編～

* 吉井中学校より乗り入れ授業 算数&外国語

今年度も、吉井中学校のご厚意で6年生への乗り入れ授業をさせていただいています。月に1度のペースで算数に数学科担当の口石先生、外国語に英語科担当の久保先生が、専門的な授業をしてくださいます。子供たちは、中学校の先生を覚えていると、進学しても違和感なく授業に参加できることでしょう。また、職員にとっても異校種間でお互いに学びあう良い機会です。



算数では視力検査で使うランドルト環の大きさと距離の関係から、比例や反比例の関係に気づきました。身近なものを利用して体験型の授業に、子供たちは課題解決に夢中になっていました。



外国語の授業では、子供たちが今までに学んだ語句を最大限に利用しながら、ちょっと中学校の内容に踏み込んだ授業でした。久保先生と富野先生の掛け合いの中でテンポの良い授業でした。

* ようこそ アレック先生！

待望のALT アレック (Alec Buccino) 先生をお迎えしました。アレック先生はとってもフレンドリーでやる気に満ち溢れている先生です。日本が大好きだそうです。初日(10/19)には1～6年生の全クラスの授業に入り、給食も子供たちと一緒に食べ、昼休みは運動場でアメリカンフットボールを教えていました。

また、今年度から本校はALTがいっしょの日を「English Day」として、できるだけ英語を使って楽しむという日にしています。子供たち同士のなかでも「Good morning! Hello!」とあいさつの言葉が飛び交っていました。



* 各学級での研究授業

どの学校でもですが、本校でも校内研修で教職員が研究授業をととして指導方法の研修をしています。今年度本校は算数科で「主体的・対話的で深い学び」をめざして意見交流の場を意図的に仕組みながら、子供たちが「できた！わかった！」と思える授業づくりを目指しています。



10/21 4年生の授業では、複雑な形の面積の求め方でした。複雑な形も補助線を入れて切り離すと正方形や長方形の合成であることに気づき、「学習したことを使ったら解決できる」ことに気づきました。それぞれ自分の考えを説明し、どの考え方になるかも自身で判断しました。集中して学習でき、発展のちょっと難しい問題にも次々にチャレンジしていました。



10/28 2年生はかけ算の2の段を導き出すという授業でした。全員が自分なりの解決法で解決できました。また、きちんと良い姿勢で真剣に集中して授業に参加する態度が大変立派でした。全員がよく手をあげ、よく発表しました。たくさんの先生たちが見に来るというプレッシャーを逆に楽しみに変える子供たちの頑張る姿に感心した授業でした。

校長室の窓から③ 「自分で意思が決定できる、意思を伝えることができる子供に」

現在の指導要領では自分の考えを決めて伝え、練り上げ、深めることができることが求められています。「話し合う」活動を多く仕組みますが、まずは自分がどう考えているか意思決定することが大切です。しかし子供たちの様子を見てみると、自分の考えでなく友達に頼っている子供も見受けられます。(〇〇ちゃんがAだから私もA)等。

これはひょっとしてご家庭でもそうではないでしょうか。(お母さんがAと言うから私もA)あるいは最初から考えないで(おかあさん、どうしたらいい?)等。教室でも、事を急ぐあまり「〇〇にしなさい」と指示を出してしまうこともあります。確かに、自分で決めるより家族や先生等大人の言うとおりにした方が楽だし、失敗ありません。しかし子供たちは大人への大切な経験を今しています。子供の意思決定を待つことは根気がいりますが、守ってあげられる今のうちに、たくさん失敗させながら、意思決定ができる子供(やがて大人)に育てたいと願います。